



NEWS RELEASE

報道資料

2013年8月16日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ ゲイリー・E・ディッカーソンを
最高経営責任者 (CEO) に指名
マイケル・R・スプリンターは取締役会エグゼクティブチェアマンに

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 8 月 15 日 (現地時間)、同社取締役会が 2013 年 9 月 1 日付でゲイリー・E・ディッカーソンを社長兼 CEO に、またマイケル・R・スプリンターを取締役会エグゼクティブチェアマンに指名したことを発表しました。ディッカーソンは同日付で取締役会の一員にも選出されています。現在、アプライド マテリアルズの社長であるディッカーソンは、2003 年以来 CEO を務めてきたスプリンターから同職を引継ぎます。

スプリンターは次のように述べています。「ディッカーソンは社長として優れた指導力とパートナーシップを発揮し、プレシジョン マテリアル エンジニアリングにおける当社の優位性を生かして利益ある成長を目指す、という新しい戦略を重点的に追求してきました。彼が取締役会の一員に加わることを歓迎します。ディッカーソンがビジョンと熱意を持ち、次期 CEO としてアプライド マテリアルズを目覚ましい成功に導くことを確信しています」

ディッカーソンは次のように語っています。「現在アプライド マテリアルズは、成長への弾みを生むかつてない強固な基盤を手にはしています。より高度で幅広い技術を備え、優秀な人材が豊富で、材料のイノベーションを推進する情熱に恵まれた当社は、お客様の躍進と成功に欠かせないデバイス性能と歩留まりを実現するソリューションを提供していきます。当社にはこれまでになく大きな機会が広がっています。スプリンター会長はじめ取締役各位には、アプライド マテリアルズを新しい成長と成功の時代へ導く栄えある役割を与えてくださったことを感謝します」

ディッカーソン (56) は長年にわたり業界のリーダーとして活躍し、売上と利益の向上を実現すると同時に、抜群の顧客満足度とシェア獲得を達成した実績を持っています。バリアンセミコンダクターイクイップメントアソシエーツ (以下バリアン) では、2011 年に同社がアプライド マテリアルズに買収されるまで 7 年間にわたって CEO を務めました。それ以前は、KLA-Tencor Corporation に 18 年間在籍し、オペレーションや製品開発の職務

を歴任した後、社長兼最高執行責任者（COO）を務めています。ミズーリ大学ローラ校で工学管理の理学士号、ミズーリ大学カンザスシティ校で MBA を取得しています。

スプリンター（62）は、2003年にアプライド マテリアルズの社長兼 CEO、並びに同社取締役会のメンバーに任命され、2009年に会長に就任しました。半導体業界では40年に及ぶキャリアを持ち、アプライド マテリアルズはスプリンターの CEO 在職中に過去最高の売上高と利益を記録しています。卓越した功績とリーダーシップを通じて米半導体業界を支えてきたことが評価され、この秋には米半導体工業会（SIA）から2013年ロバート・N・ノイス賞を受賞することが決まっています。

アプライド マテリアルズ（Nasdaq: AMAT）は、先進的な半導体、フラットパネルディスプレイ、太陽電池の製造に用いられる革新的な装置、サービスおよびソフトウェアを提供するグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズのテクノロジーにより、スマートフォン、薄型テレビ、ソーラーパネルなどの製品が世界中の家庭やビジネスで、より手頃な価格でご利用いただけるようになります。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは8月15日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：渡辺徹）は1979年10月に設立。京都、大阪支店のほか13のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

社長室：大橋 百合（Tel: 03-6812-6801）

ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>
